OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	新米保健所長の夏休み
Author(s)	中澤, 秀夫
Citation	大阪公衆衛生. 1994, 66, p. 10-12
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83793
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

寄　稿

新米保健所長の夏休み

大阪市港保健所長
中　澤　秀　夫

子供の頃の夏休み

今年の夏は非常に暑かった。しかし、昨年がたまたま数年来の冷夏だっただけで、夏はこのような暑さなのかもしれない。だが、外出から帰るとグッショリ汗をかき、クーラーなしでは仕事ができなくなった。

環境に順応できなくなったためか、スーツを着て歩かなければならなくなったためかはわからない。とにかく、夏は裸でゆっくり休むにかぎる。

夏休みといえば、子供のときは待ち遠しくて、期末考査の前から指折りかぞえて、休み中の計画を立てた。しかし、いざ休みになると大抵朝からだらだらして一日を過ごしてしまう。

両親から「夏休みこそ勉強でもスポーツでも自分の不得意なところを頑張って挽回しな

さい。」とよく注意されたが、今、同じことをわが子供たちに注意している。

保健所長を拝命

三年以上公衆衛生の実務に従事した経験があるものかまたは国立公衆衛生院の行う養成訓練の過程を経たもの、と同等以上の技術または経験を有すると厚生大臣が認めてくださったためか、昨年から保健所長を拝命している。

病院勤めの時に保健所のお手伝いを時々させてもらったが、学生時代から「公衆衛生とは他の学問を拝借し、究極的には疫学・統計学にすぎない。」と浅学の身もかえりみず手抜きをしていた。

ゆえに、いまだに不得意な分野に変わりはない。日頃の自信のなさが先輩・上司にもわかると見えて，さかんに「勉強しなさい。」と言って、参考書を貸してくださったり、研修（塾）に行かせていただける。その甲斐あって、自信もついてきたように思うが、毎日の小テストだけではまだ実力テストは受けていない。

全国保健所長会に参加して

先日、猛暑の中、東京で行われた全国保健所長会研修会に参加する機会を得た。「21世紀に向けた公衆衛生の課題」ということで厚生省の課長による保健経済学、地域保健法、また各分野の著名な専門家によるエイズ、結核、高齢者対策等の講義があった。

中でも、「結核の現状と21世紀に向けての課題という結核研究所青木正和所長の講義があるので、日本一罹患率の高い大阪市が話題に上がるだろうと思い、少々は予習して行った。講義の中で予想通り、罹患率の一番低い長野と一番高い大阪市の比較や、治療対策の進んでいる沖縄の話題が出た。

大阪市から結核をなくすには

最後に司会者から何か質問は、と言われ、「先生のおっしゃるとおり、大阪市は全国一罹患率が高く、結核の話になると私達も肩身の狭い思いをしている。しかし、大阪市は、あいりん地区があるし、高齢化が激しく、住宅問題、雇用問題もある。私達もそれなりに一生懸命しているが、保健所だけではどうにもならない。先生は、これから更にどうしていけば大阪市から結核をなくすことが出来ると思いますか」と質問した。

青木先生は一瞬驚かれたようだが、すぐに「大阪市の結核はむずかしいですね。あいりん地区に住む患者が徐々に周辺地域へ広がっているし、市域が狭いので、若者がどんどん郊外に移っていく。当然保健所だけではどうしようもないですよ。東京も秋田に次いで三番目だが、気をつけないと。」と東京の世話役保健所長の方を見て言われた。

もっと勉強しなければ

私があまりにも深刻そうな顔をしていたのか「いやいやあなた方が悪いとは言っていないし、誰を責めているのでもない。ただ、悪いところを一つ一つ直していくことです。」と言われて講義が終わった。都庁のクーラーがよく効いていたためか、結核・地域保健法の話を聞いたためか涼しさも増して感じた。

もっと勉強しなければ。

再び蒸し風呂のような大阪にもどってきて、「病院の若い先生が結核患者発生届を出さず患者を一年間放置していたため、多くの人が感染、発症した。」と聞いて、「結核予防法も知らないのか。公費負担申請書と混同しとる。発生届は二日以内に届け出なければならないのに。」と言いながら、熟練看護婦に言われるままに書類を書いていた若いときの自分を思い出した。

社会の規則の意味を周知徹底させ、世の中全体の健康を守るのが保健所の役目なのかと改めて感じた。夏休みの補習効果があったのかもしれない。